

専修大学経営研究所台湾実態調査報告

加 藤 茂 夫

専修大学経営研究所は毎年国内外の企業視察を実施している。海外への実態調査と国内企業へのそれを原則隔年ごとに行い、今年度は海外の視察の年であった。専修大学経営研究所の事務局会議において慎重に検討した結果、台湾への視察となった。今を遡ること12年前の1994年3月に研究所で台湾視察を実施している。今回の訪問はその間の経済発展の推移や国勢の状況を比較する狙いもあった。また、幸いなことに経営学部助教授の李建平先生が副団長としてスケジュール等の実行案を作成してくれたこと、また、通訳をしてくれたことであった。台湾台北を中心に大学・企業・政府機関・サイエンス・パーク等を訪問調査した。多くの実るある成果を得て無事帰国できたことは専修大学経営研究所長として関係者に心より感謝申し上げる次第である。

さて、この視察団は2006年3月12日～15日の日程において台湾訪問が実施された。以下に1. 視察団メンバー、2. 訪問日程と訪問先、3. 台湾訪問に関する報告を記しておく。

1. 視察団メンバー

視察団の構成メンバーは加藤茂夫（団長経営学部教授）、池本正純（経営学部教授）、岡田和秀（経営学部教授）小島崇弘（商学部教授）、高澤十四久（経営学部教授）、平川東亜（経済学部教授）、李建平（副団長、経営学部助教授）の研究所所員7名、儀我壮一郎参与1名の計8名であった。また、台湾在住で専修大学大学院経営学研究科を修了した卓 恵真氏も参加してくれた。彼女は儀我壮一郎参与の教え子であり、中華経済研究院に所属している。台湾の現状についての実

態把握が一層深まったことは意義深い。

2. 訪問日程と訪問先

2006年3月12日

成田国際空港 11:10 発 ANA の EL 2109 で台湾に向け出発。14:30 桃園空港に着陸, 17:00 にホテル (GOLDEN CHINA HOTEL) に到着。

2006年3月13日

①銘傳大学訪問 (午前 9:40~12:10)

銘傳大学の歓迎セレモニーおよび懇談会 (9:40~10:40)

銘傳大学の参加者: 大学教務長 (副学長クラス) 王金龍教授, 呂郁女教授, 林長河副教授, 黎立仁助理教授

大学キャンパス見学 (10:45~12:10)

見学先: バーチャル撮影スタジオ, 情報処理センターのメイン・コントロール・ルーム, アートセンター, 実習ホテル, アメリカ文化教室, 日本文化教室, 中国文化教室, 図書館

②行政院財政部 (内閣財務省) 訪問 (午後 13:00~14:50)

財政部長 (財務大臣) 呂桔誠氏, 中華民国国策顧問寥敏誠氏と懇談

③専修大学台湾校友会との交流 (17:30~20:30)

参加者: 台湾校友会顧問盧中庸氏, 台湾校友会会長李健華氏など 10 名の専修大学 OB

2006年3月14日

①耐斯企業集団の傘下の愛之味株式会社訪問 (9:30~11:30)

企業の内容: 食品や洗剤などの日常用品の製造および販売

参加者: 愛之味中央研究所所長陣鏡潭氏, 耐斯企業集団管理本部投資部マネージャー蘇聖傑氏, 管理本部投資経営組プロジェクト・マネージャー林裕輝氏, 販売企画部シニア・マネージャー何如昌氏

②台北市建設局および内湖サイエンス・パーク訪問（13：30～16：30）

参加者：建設局副局長康道春氏，建設局課長李昌輝氏，内湖サイエンス・パーク・サービスセンター長湯偉民氏，副センター長廖梓規氏，台北市議員林変華氏，中華資産鑑定中心株式会社代表取締役楊三峰氏

③栽林国際株式会社訪問（17：00～18：00）

企業の内容：化粧品の販売や美容サービス

参加者：社長蔡銀鷺氏，社員蘇桂芳氏

2006年3月15日

桃園空港 13：25（ANAのEL2104）出発，17：30成田国際空港着

3. 台湾訪問に関する報告（③以下はあいうえお順）

- ①儀我壮一郎 「1994（平成6）年と2006（平成18）年の台湾—12年前のタイム・カプセルを開きながら—」
- ②卓 恵眞 「台湾のハイテク産業の発展趨勢と産業政策」
- ③池本正純 「2006年台湾調査報告」
- ④岡田和秀 「台湾・台北市視察旅行—リピーターの記憶の断片から」
- ⑤小島崇弘 「銘傳大学を訪ねて」
- ⑥高澤十四久 「専修大学経営研究所台湾企業視察団に随行して—銘傳大学への訪問と専修大学台湾校友会との交友に係らせて一言」
- ⑦平川東亜 「台湾訪問記」
- ⑧李建平 「台北市の産業構造と市政府の産業政策」

以上